**令和２(2020)年度環境研究総合推進費申請書**

申請に当たっては、記入上の注意事項及び記載例（赤字個所。本説明文を含む）は全て削除すること

**【委託費（環境問題対応型研究）】**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |
| 重点課題（必須）※２つまで選択可。（主は選択必須） | 主： 公募要領p.３記載の16の重点課題から選択の上記入（例：①持続可能な社会の実現に向けたビジョン・理念の提示）副： 同上 |
| 研究領域 | 公募要領p.３記載の5領域から選択した重点課題の属する領域を選択の上記入（例：統合領域） |
| 行政ニーズ（任意） | 公募要領別添資料１記載の行政ニーズを選択の上記入（例：（1-1）○○○○） |
| 研究期間 | 2020年　　4月　　1日　　　～　　2023年　　3月　31　日（　3　年間） |
| 研究代表者氏名 | （フリガナ） |  |
| （漢字等） |  |
| 所属研究機関 |  |
| 住所 | 〒 |
| 電話番号 |  | ＦＡＸ |  |
| E-mail |  |
| 部局 |  |
| 職名 |  |
| 経理事務担当者氏名 |  | 経理担当部局名・連絡先等 | 電話番号： 　　　　FAX番号：E-mailアドレス： |

・「重点課題」欄では、公募要領p.３を参照のうえ、【重点課題①】～【重点課題⑯】のうち該当すると

　思われるものを選択すること。

・「研究領域」欄では、選択した重点課題（主）が含まれる研究領域を選択すること（ただし、事務局にて精査した結果、選択されたものとは異なる領域の研究部会で審査を実施する場合がある）。

・「行政ニーズ」欄では、別添資料１を参照の上、重点課題毎に記載されている行政ニーズのうち該当すると思われるものを選択すること（選択した重点課題に含まれていない行政ニーズは選択不可）。

・**公募要領ｐ.４のⅠ．４（４）２）に示した気候変動への適応に関する研究課題のうち、地域の関係者が連携して行い、他地域の適応策にも貢献しうる課題、及び３）に示した技術実証型に該当する課題は「研究課題に関する追加情報」（１）採択審査における関連情報について「該当する」を選択し、申請書の「１　研究目的」に、その内容について具体的に記入すること。**

**各年度別経費内訳**

・各年度別経費をサブテーマ毎に記入し、サブテーマ数に応じて表を増減すること。

・研究期間が２年以下の場合は不要な年度を削除すること。

・**１サブテーマに複数機関が参画する場合は、各機関の費目毎の経費の合計額を記入すること。**

（単位：千円）

|  |
| --- |
| **サブテーマ１（○○大学）** |
| 大項目 | 中項目 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 計 |
| 直接経費 | イ.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| ロ.人件費　・謝金 | 人件費・謝金 |  |  |  |  |
| ハ.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| ニ.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 直接経費　　計（イ～ニ） |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） |  |  |  |  |
| **①サブテーマ１合　計****（直接経費＋間接経費）** |  |  |  |  |
| **サブテーマ２（××研究所、△△大学）※複数機関が参画する場合は費目毎の合計額を記入** |
| 大項目 | 中項目 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 計 |
| 直接経費 | イ.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| ロ.人件費　・謝金 | 人件費・謝金 |  |  |  |  |
| ハ.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| ニ.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 直接経費　　計（イ～ニ） |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） |  |  |  |  |
| **②サブテーマ２合　計****（直接経費＋間接経費）** |  |  |  |  |
| **合計（①＋②）** |  |  |  |  |

・公募要領p.29-p.30を参照の上、2020年度（研究初年度）の経費内訳について、サブテーマ別に記入すること。サブテーマが複数ある場合は、下表をコピーして追加すること。なお、サブテーマが１つしかない場合は、サブテーマ名には研究課題名を記入すること。

・**研究２年度目以降の年度毎の経費総額を研究初年度より増額する場合は、下表をコピーして全てのサブテーマに対して当該年度の経費内訳を追加すること。**

・**１サブテーマに複数機関が参画する場合は、各機関の費目毎の経費の合計額を記入すること。**

**・合計金額は前頁の記載と一致させること。**

・消費税相当額は公募要領p.30「留意事項」を参照の上、必要に応じて計上すること。

（単位：千円）

|  |  |
| --- | --- |
| 2020年度経費内訳サブテーマ１ | サブテーマ名：研究機関： |
| 【経費区分】 | 【金額】 | 【主な積算内訳】 |
| イ．物品費 | (A+B)の合計額 |  |
| 設備備品費　　 | A | ディープフリーザー（金額） |
| 消耗品費 | B | プラスチック消耗品 （金額）、○○用試薬 （金額）、・・・ |
| ロ．人件費・謝金 | (C+D)の合計額 |  |
| 人件費 | C | 博士研究員（月額○○、12ヶ月、1名）金額 |
| 謝金 | D | アドバイザー謝金（金額/人、2名）金額、調査補助（金額/人、1名）金額 |
| ハ．旅費 | E |  |
| 旅費 | E | 国内調査旅費（東京-大阪、1泊2日、3回、2名）金額国内学会参加旅費（○○学会、東京-福岡、2泊3日、2名）金額国際学会参加旅費（○○学会、東京-ワシントン、3泊4日、1名）金額委員等旅費（東京-北海道、日帰り、3回、2名）金額 |
| 二．その他 | (F+G+H+I+J+K+L)の合計額 |  |
| 外注費 (\*) | F | シーケンス解析外注（金額）、英文校閲料（金額） |
| 印刷製本費 | G |  |
| 会議費 | H | アドバイザリーボード会合会場使用料（3回、金額） |
| 通信運搬費 | I | 試料輸送料（3回、金額） |
| 光熱水料 | J |  |
| その他（諸経費） | K |  |
| 消費税相当額 | L |  |
| １．直接経費（イ～ニ）  | （イ+ロ+ハ+ニ）の合計額 |  |
| ２．間接経費 | （イ+ロ+ハ+ニ）の合計額の30％以内 |  |
| 合計（１＋２） |  |  |

（\*）外注費：研究代表機関又は研究分担機関が行うべき本質的な業務は不可。

　　　　　　 また、原則、直接経費の総額の1/2までとする。

■購入予定の主要設備及び備品（1件5,000千円以上）

・研究期間内で購入予定の設備及び備品のうち、1件当たりの価格が5,000千円以上のものについて、機器名、概算価格、使用目的を簡潔に記載すること。

（記載例）

サブテーマ１

○○○○○　5,000千円（購入年度：2020）○○○の解析に使用

△△△△△　10,000千円（購入年度：2021）△△△に使用

サブテーマ２

×××××　5,000千円（購入年度：2021）×××の解析に使用

**研究組織（研究代表者及び研究分担者）**

・**サブテーマの順に記入し、サブテーマが複数ある場合は、下表をコピーして追加すること。各サブテーマにおいては、サブテーマリーダーを最初に記載すること。**なお、サブテーマが１つしかない場合には、サブテーマ名には研究課題名を記入すること。

・**研究代表者は必ずいずれかのサブテーマリーダーとなること。**

・**府省共通研究開発管理システム(e-Rad)へ研究者情報を登録した際に付与される8桁の研究者番号を必ず記載すること。**

・申請時点で研究分担者が確定していない場合は雇用予定等の人数を記載すること。

・雇用予定者以外の研究代表者及び研究分担者はe-Rad記載内容と一致させること。（異動等でe-Rad記載と異なる場合はその旨記載すること。）

・研究協力者は研究体制に記載しないこと。

・「年齢」は申請時点を記入すること。

・「研究経費」欄には、直接経費を記入すること。

・「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記入すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 研究体制サブテーマ１ | サブテーマ名： |
|  | 氏名（年齢）研究者番号 | 所属研究機関部局職名 | 現在の専門学位（最終学歴）役割分担 | 2020年度研究経費（千円） | エフォート（％） |
| サブテーマリーダー | ○○　○○（６０）研究者番号：12341234 | ○○大学 | 環境工学 | ○○○○（直接経費） |  |
| 大学院○○研究科 ○○専攻 | 博士（工学） |
| 教授 | 研究代表者、研究総括 |
| 研究分担者 |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |  |
| 研究分担者 | ２名雇用予定 |  |  |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| ＜研究者実数＞計：　　　　名＜所属機関実数＞計：　　　　機関 | 　　　　　　研究経費合計：　　　　　千円 |

**１　研究目的**

・Ａ４用紙２ページ以内で記入すること。

・後述する「研究課題に関する追加情報（１）採択審査における関連情報」（P.11(1)参照）に該当する場合は、以下でその内容について具体的に記入すること。**特に、「３）「実証・実用化を見据えた技術実証型課題への該当」について」に該当する場合は、基礎・応用研究により得られた技術開発成果の内容と社会実装へ向けた当該技術の実用可能性の検証等を行うプロセスを明記すること。**

**（１）研究の背景・目的**

**・800文字程度以内で記載し、e-Radの【研究目的】と同一内容にすること。**

・関連する国内外の環境問題の状況及び研究動向など、研究を提案するに至った背景について記入すること。

・特に、条約等に基づく国際的な取組や国際共同研究計画と関係が大きい場合は、該当する取組や計画の名称、本研究との関係や位置付けについて必ず記入すること。また、緊急に実施する必要がある場合は、根拠とともに客観的かつ具体的な理由を記入すること。

・上記背景を踏まえ、本研究の全体目的を記入すること。

**（２）研究の概要**

**・800文字程度以内で記載し、e-Radの【研究概要】と同一内容にすること。**

・本研究の内容、方法、環境政策への貢献内容等の概要を記入すること。なお、複数年の研究を予定している場合は、初年度のみだけではなく研究期間全体の概要を記入すること。

**（３）行政ニーズ/環境政策等への貢献、環境産業等への活用**

・選択した重点課題及び行政ニーズに対して、本研究によって見込まれる環境政策等への貢献内容を記入すること**（必須）**。また、本研究成果を環境産業等に活用する予定や見通し等がある場合は、「どのような環境産業に活用するのか」「その潜在的な市場規模は、概ねどの程度と想定されるのか」といった点についても記入すること**（任意）**。

**（４）研究の独創性・新規性**

・他の研究で明らかになっている点や課題、過去の経緯や現状等を踏まえて、本研究の新規性や環境研究への新たな研究手法の提供等の独創的な点について、記入すること。

**２　研究計画・方法**

・（１）、（２）合計Ａ４用紙２ページ以内で記入すること。

・**採択後は、本記載内容に基づいて作成する研究計画書の内容に沿って研究を実施するため、出来るだけ具体的に記載すること。**

・後述する「研究課題に関する追加情報（２）研究実施に当たって考慮すべき事項」(P.11(2)参照)に該当する場合は、以下でその内容について具体的に記入すること。**特に、「２）海外研究機関との研究連携」に該当する場合は、連携を想定している海外研究機関または研究者について簡潔に記載すること。**

**（１）本研究の最終目標**

・研究テーマ全体で達成する目標を記入すること。なお、サブテーマを設定する場合、全体目標を達成するために、各サブテーマがどのような役割を果たし、それらをどのように関連付けて成果を上げるか、記入すること。

**（２）各年度の研究計画**

・研究課題全体としての年度毎の到達目標を記入すること。

・論理的かつ簡潔な記述を心掛け、冗長な記述は避けること。また、高度な専門用語や特定の分野で用いる略号・略称には、必ず注釈を入れること。

・適宜図表を挿入して構わない。ただし、図等をオブジェクトとして貼り付ける場合、出来るだけファイル容量を抑えること。なお、カラー図表が挿入されている場合であっても、評価に当たっては白黒で印刷し、評価を行う。

・サブテーマを設定している場合は、研究課題全体についての記入内容を踏まえ、次の内容について、サブテーマ毎に記入すること。

* サブテーマ名、サブテーマリーダーの氏名・所属研究機関名
* サブテーマ毎の年度別達成目標と、その達成に向けた研究内容・手法

**（３）研究課題の概要図**

・研究課題の目的、構成、研究体制等が分かるような概要図（研究課題名と研究代表機関名を含む）を、Ａ４用紙１ページで挿入すること。なお、カラー図表が挿入されている場合であっても、評価に当たっては白黒で印刷し、評価を行う。

**３　研究業績**

・本研究の**研究代表者及び研究分担者**毎に、本研究に関係する主な研究論文・著書を直近年度から順に記入すること。なお、1人当たり10件、全体で20件まで記入可。

・記入に当たっては、国立研究開発法人科学技術振興機構が運営するresearchmapの登録情報を活用することが可能。その場合は、下表を削除の上、researchmapの論文情報について、テキストをコピー＆ペーストする等して記入すること。なお、researchmapの登録情報を活用しない場合は下表に記入すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 研究代表者（氏名）/研究分担者（氏名） | 発表業績 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

（researchmapの登録情報を活用する場合の記載例）

※上表を削除の上、researchmapの論文情報のテキストを貼り付けること。

○○○○○○○・・・（課題名）

△△△△ et al.(著者)

×××××111-111 2019年1月（論文名、巻数、ページ数、発行年）

○○○○○○○・・・（課題名）

△△△△,●●●●.(著者)

×××××111-111 2019年1月（論文名、巻数、ページ数、発行年）

**４　研究費の応募・受入等の状況・エフォート**

・Ａ４用紙２ページ以内で記入すること。

・**本応募課題の研究代表者**の応募時点における、（１）応募中の研究費、（２）受入予定の研究費、（３）その他の活動（講義などを含む）について、次の点に留意し記入すること。

* 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記入すること。
* 研究経費は本応募課題の研究代表者分の直接経費を記入すること。
* **（１）「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入すること。**
* （２）「受入予定の研究費」欄には、現在受けており、かつ本応募課題開始時にも受けている予定の研究費について記入すること。

**（１）応募中の研究費**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 2020年度の研究経費（千円）（期間全体の額） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 |
| 【本応募研究課題】 |  | 代表 | （　　　） |  |  |
|  |  |  | （　　　） |  |  |

**（２）受入予定の研究費**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 2020年度の研究経費（千円）（期間全体の額） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 |
|  |  |  | （　　　） |  |  |
|  |  |  | （　　　） |  |  |

**（３）その他の活動（講義などを含む）　　　エフォート：　　　％**

**５　これまでに受けた研究費とその成果等**

・Ａ４用紙２ページ以内で記入すること。

・**研究代表者及び研究分担者**が過去に受けたことのある研究費（所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、次の点に留意し記入すること。

* **推進費による研究費とそれ以外の研究費に分けて記入すること。なお、それ以外の研究費については過去５年間を対象に記入すること。**
* それぞれの研究費毎に、資金制度名、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（研究課題全体の直接経費）を記入すること。
* 研究成果及び中間・事後評価結果（当該研究費の配分機関が行うものに限る）があれば必ず記入すること。**特に研究成果については、これまでの研究成果を踏まえた本研究の現状・位置付けが分かるように記入すること。**

【推進費によるもの】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 【課題番号】研究課題名（研究代表者氏名、研究期間） | 役割(代表・分担の別) | 期間全体の研究経費(千円) | 研究成果及び中間・事後評価結果 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

【それ以外の研究費によるもの】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名、研究期間） | 役割(代表・分担の別) | 期間全体の研究経費(千円) | 研究成果及び中間・事後評価結果（当該研究費の配分機関が行うものに限る） |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

**研究課題に関する追加情報**

**（１）採択審査における関連情報**

　以下に該当する場合は、「1　研究目的」にその内容について具体的に記入すること。

１）「経済財政運営と改革の基本方針2019との関連」について

「経済財政運営と改革の基本方針2019」（※）に掲げられている以下の内容に該当する場合は、該当する項目を選択すること。

　　・汚水処理事業のリノベーションに関する研究

　　・地域特性を活かした地域循環共生圏の創造に関する研究

　　・健全な水循環の維持・回復に関する研究

　　・廃棄物処理・浄化槽などの環境インフラの国際展開に関する研究

　　・石綿の飛散防止対策やフロン対策などの大気・水・土壌環境の保全に関する研究

　　・化学物質対策に関する研究

　　・農業や防災等に関する気候変動適応策の推進に関する研究

※本文は以下の内閣府HPを参照。

　　　<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/2019/decision0621.html>

２）「気候変動への適応に関する研究課題のうち、地域の関係者が連携して行い、他地域の適応策にも貢

　　献しうる課題（地域レベルの気候変動適応課題）への該当」について

平成30年６月に公布された気候変動適応法を踏まえた、気候変動への適応に関する研究課題のうち、地方公共団体、地域の研究機関・大学（気候変動適応法に基づく地域気候変動適応センターとなることが想定される機関を含む。）など、地域の関係者が連携して行い、他地域の適応策にも貢献しうる研究課題に該当するかどうか記入すること。

３）「実証・実用化を見据えた技術実証型課題への該当」について

推進戦略に掲げる重点課題の解決に資する技術開発の成果の社会実装を進めるため、それらの実用可能性の検証を行う課題（環境問題対応型研究（技術実証型））に該当するかどうか記入すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 経済財政運営と改革の基本方針2019への該当 | 該当する場合は上記より選択の上、記入すること。（例：地域特性を活かした地域循環共生圏の創造に関する研究） |
| 地域レベルの気候変動適応課題への該当 | 例：該当する。 |
| 実証・実用化を見据えた技術実証型課題への該当 | 例：該当する。 |

　※該当しない場合は「該当しない」と記入すること。

**（２）研究実施に当たって考慮すべき事項**

１）動物実験の予定

動物実験を予定しているかどうか、また、予定している場合は実施予定機関において動物実験に関する倫理規定を定めているかどうか以下の選択肢から選択の上記入すること。

　　・動物実験を予定しており、当該動物実験を実施予定の研究機関において動物実験に関する倫理規程等を定めている

　　・動物実験を予定しており、当該動物実験を実施予定の研究機関において動物実験に関する倫理規程等を定めていない

　　・動物実験を予定していない

２）海外研究機関との研究連携

本申請課題において、海外研究機関との研究連携があるかどうかを記入すること。また、これらに該当する場合は、「２　研究計画・方法」にその内容について連携を想定している海外研究機関または研究者について簡潔に記載すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 動物実験の予定 | 上記、１）に記載の項目より選択の上、記入すること。 |
| 海外研究機関との研究連携への該当 | 例：該当する。 |

　※該当しない場合は「該当しない」と記入すること。

**（３）国の施策等との関連情報**

１）「環境産業との関連」について

本研究開発の成果を環境産業に活用する予定・計画等がある場合は、「関連する」を記入すること。

２）「地域連携との関連」について

研究代表者または研究分担者のうち少なくとも１名が、地方環境研究機関、公設試験研究機関その他、地域の実情に即した得意分野を持つ団体等に所属している場合は、「関連する」を記入すること。

３）「中小企業との関連」について

研究代表者または研究分担者のうち少なくとも１名が、中小企業（※）に所属している場合は、「関連する」を記入すること。

※中小企業基本法における中小企業の定義による。詳細は以下の中小企業庁HPを参照。

　https://www.chusho.meti.go.jp/index.html

４）「知財戦略との関連」について

応募予定の研究による成果を活用し、本研究期間中または終了後に国際標準化や認証に向けた基準策定に係る検討を行う予定がある場合は、「関連する」を記入すること。

５）「Future Earthとの関連」について

Future Earth（※）に関連する場合は、「関連する」を記入すること。

※日本学術会議におけるFuture Earthの定義による。詳細は以下の日本学術会議HPを参照。

　　http://www.scj.go.jp/ja/int/futureearth/index.html

|  |  |
| --- | --- |
| 環境産業との関連 |  |
| 地域連携との関連 |  |
| 中小企業との関連 |  |
| 知財戦略との関連 |  |
| Future Earthとの関連 |  |

　※関連しない場合は「関連しない」と記入すること。